

AudioComm®

取扱説明書

FMステレオ／AMポケットラジオ

型番：RAD-P187N

品番：07-7343



このたびは、AudioComm®
FMステレオ／AMポケットラジオを
ご購入いただき
誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。本機の性能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ

●通話料無料

●携帯・IP・公衆電話からは

0120-963-006 048-992-2735

電話 平日 9:00～17:30 土曜 9:00～17:00
受付 日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

電話 048-992-3970 平日 9:00～17:00
受付 土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-7343A

目次

免責事項	1
安全上のご注意	2~3
各部の名称	4~6
乾電池の入れかた	7
時刻の設定方法	8~9
ストラップの取り付けかた	9
ラジオを聴く(基本操作)	10~12
よりクリアな放送を楽しむために	12
低音強調機能	13
ホルド機能について	13
FMステレオ放送の受信状態がよくないときは	14
FM補完放送「ワイドFM」について	14
メモリー登録をする(手動)	15~16
ATS(オートチューニングスキャン)	17
メモリー登録の削除方法	18
海外でご利用の場合	19
故障かなと思ったら	20
お手入れのしかた	20
保証書とアフターサービスについて	21
静電気に関するご注意	21
主な仕様	22

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使い方は火災や感電による人身事故につながる場合があります。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。



以下を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されますので必ずお守りください。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機から乾電池を取り外す
 - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
 - ・煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。
- 万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止する
 - ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 - ・販売店にご連絡ください。
- 本機を分解、修理、改造しない
 - ・火災・感電の原因となります。
- 屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、すぐに使用を中止する
 - ・落雷や感電の原因となります。
- 浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない
 - ・感電や故障の原因となります。
- 車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない
 - ・交通事故の原因になります。
 - ・歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。
- 乾電池を取り外した場合は、小さなお子様乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する
 - ・乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。



以下を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定されますので十分ご注意ください。

- 乾電池を挿入するときは極性表示(プラスとマイナス)の向きに注意し、表示通り正しく入れる
 - ・間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。
- 指定以外の乾電池は使用しない。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使ったり、種類の異なる乾電池(例：アルカリとマンガン)をいっしょに使用しない
 - ・乾電池の破裂、液もれにより、火災やけが、周囲汚損の原因となることがあります。

- くらくたいたの上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない
 - ・落下による故障やけがの原因となることがあります。
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
 - ・故障の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かない
 - ・火災・感電の原因となることがあります。
- はじめから音量を上げすぎない。長時間、大音量で聴き続けない
 - ・周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
- 落としたり、重いものを載せたりしない。また、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない
 - ・本機の故障や破損の原因になることがあります。
- 電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない
 - ・電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズの原因となります。
- 長時間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す
 - ・火災・液もれの原因となることがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

 警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・乾電池を幼児に触らせない ・ショートさせない
 注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を使わない ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

各部の名称



各部の名称（続き）

右側面

M+ボタン

M-ボタン
[削除ボタン]※

メモリーボタン
[ATSボタン]※

バンド切換ボタン
[時刻設定ボタン] ※ ※

重低音ボタン
[FMステロボタン]※

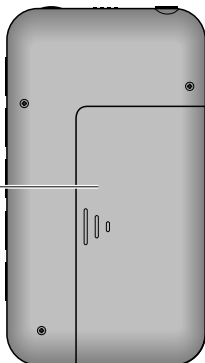
※[]内は長押し時の機能

※※[]内は電源オフ時の機能

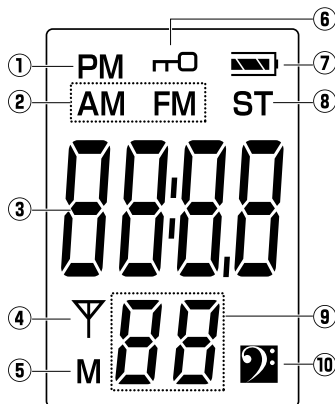


背面

電池がた



ディスプレイの見かた



①PM時刻アイコン

午後の時刻表示時に点灯（午前のAM表示はありません）

②バンド表示

③時刻／周波数表示

④受信状態アイコン
このアイコンが点灯中は⑨のエリアに受信感度を表示

⑤メモリーアイコン

このアイコンが点灯中は⑨のエリアにメモリー番号を表示

⑥ロックアイコン

ホールド機能有効時に表示

⑦電池残量表示

残量あり → 少ない → 残りわずか

⑧FMステロアイコン

⑨各種情報表示エリア

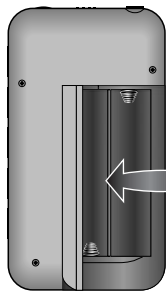
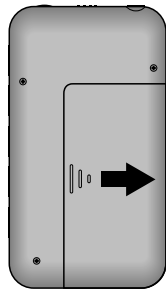
AMまたFMの受信感度、メモリー番号などを表示。電源オフの場合は秒を表示

⑩重低音アイコン

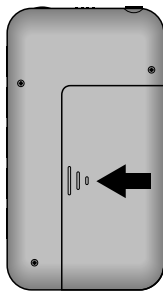
重低音強調時に表示

乾電池の入れかた

- 1 背面の電池ぶたを矢印の方向にスライドさせて持ち上げます。
- 2 単4形乾電池2本(別売)を、⊕と⊖の向きに注意しながら、図の通り正しく装着します(コイルバネのあるほうが⊖側です。⊖側から先に装着してください)。
- 3 電池ぶたのツメを止め部と合わせ、元通りにしっかりと閉めます。



単4形乾電池
×2本(別売)



**アルカリ乾電池を
ぜひご使用ください**

マンガン乾電池、充電式乾電池では使用可能時間が短くなります。

時刻の設定方法

電源が入っていない状態で操作してください。

- 1 電源が入っていない状態で、時刻設定ボタン(バンド切換ボタン)を押します。



- 2 「時」表示が点滅している間に、選局ボタン(+/-)を押して「時」を選び、時刻設定ボタン(バンド切換ボタン)を押します。

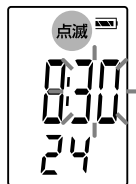


「時」の設定



- 3 「分」表示が点滅している間に、選局ボタン(+/-)を押して「分」を選び、時刻設定ボタン(バンド切換ボタン)を押します。

※点滅が点灯に変わり、時刻が確定します。このとき、秒表示が0にリセットされます。



「分」の設定

ヒント バックライトについて

本機のいずれかを操作すると、ディスプレイのバックライトが約16秒間点灯しますので、暗いところでも確認しやすくなります。時間が経過すると自動的に消灯します。

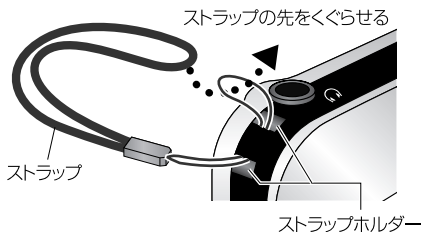
時刻の設定方法（続き）

ヒント

- 乾電池が正しく装着されているときは、電源オフのとき、常に現在時刻を表示します。
- 時刻表示は12時間表示・24時間表示の選択が可能です（初期設定は12時間表示）。
 - ・時刻設定ボタン（バンド切換ボタン）を約5秒間長押しすると、「H12」「H24」のいずれかが表示されます（長押しするたびに切り換ります）。
 - ・H12：12時間表示
 - ・H24：24時間表示となります。
 - ・12時間表示の場合、午後の時刻はディスプレイに「PM」が表示されます（午前の「AM」表示はありません）。
- 選局ボタン（+/-）を押したままにすると、連続して時・分が送られますので、素早く設定することができます。
- 時刻設定中も秒表示はそのまま進み、「分」を指定して時刻設定ボタン（バンド切換ボタン）を押した段階で0にリセットされます。
- 乾電池を交換した後などに時刻が正しくない場合は改めて設定し直してください。

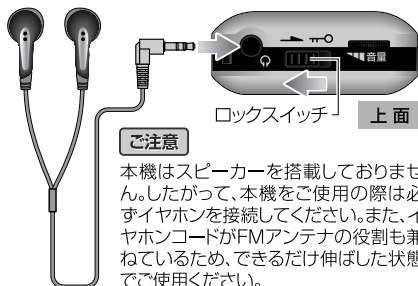
ストラップの取り付けかた

本機には携帯に便利なストラップが付属しています。細いほうの輪の先端をストラップホルダーに通し、次に手に持つほうの先端を図の通りくぐらせて、しっかりと固定させていただきます。



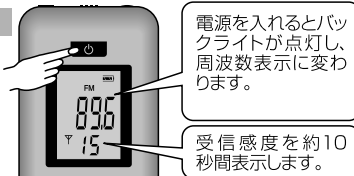
ラジオを聴く（基本操作）

- 1 ロックスイッチが切になっていることを確認し（下図参照）、ステレオイヤホンのφ3.5mmステレオミニプラグを本機のイヤホンジャックに接続します。



- 2 電源ボタンを押して電源を入れます。

前面



ヒント 受信感度について

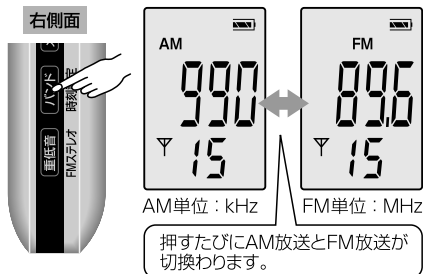
数字が大きいくほど感度が強くなります（単位：dB）		
範囲	0～70	
目安	20以下	非常に弱い
	21～40	弱い
	41～60	良好
	61以上	非常に強い

- ご注意** 電源を入れるときは、音量ツマミで音量を絞ってください。突然大きな音が出て、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

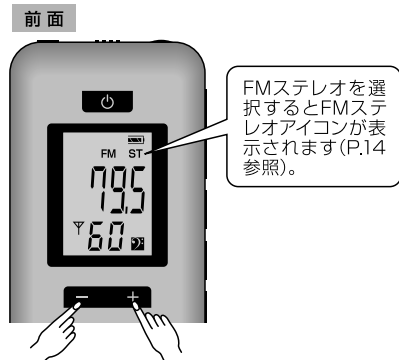
次ページに続く

ラジオを聴く（基本操作）

- 3** バンド切換ボタン(時刻設定ボタン)を押して、AM放送またはFM放送を選びます。



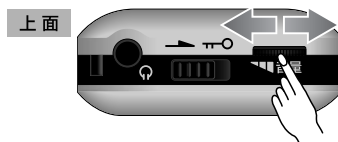
- 4** 選局ボタン(+/-)を押して、お聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。



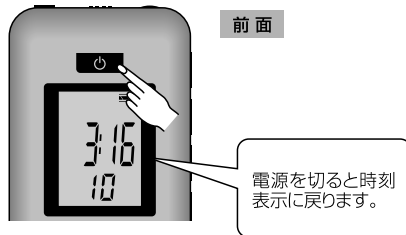
ヒント

- 選局ボタン(+/-)を長押しすると、連続して周波数が送られますので、素早く選局することができます。長押しした後に指を離すと、最初に良好に受信できた放送局を選局します。
- AM放送の場合、9kHz単位で上下し、FM放送の場合、100kHz単位で上下します。

- 5** 音量ツマミを使って音量を適切に調節します。



- 6** 終了するときは、電源ボタンを押します。



よりクリアな放送を楽しむために

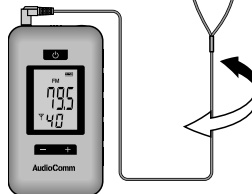
●AM放送の場合

AMアンテナは本機内に内蔵されています。本機の向きを変えて最も良く聞こえるように調節してください。



●FM放送の場合

イヤホンコードを最もよく聞こえる方向に動かしてください(イヤホンコードがアンテナを兼用しています)。



低音強調機能

ラジオを聴いているときに重低音ボタン(FMステレオボタン)を短く押すと、ラジオ音声の低音域が強調されます(ディスプレイに重低音アイコンが表示されます)。もう一度押すと、重低音アイコンが消え、通常の音声に戻ります。

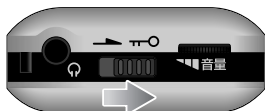
右側面



ホールド機能について

ロックスイッチを マーク側になると(図参照)、ボタン操作ができなくなります(音量ツマミのみ操作可能)。靴の中に入れて持ち運ぶときなど、誤操作を防止したいときにお使いください。

上面



ヒント

ロックスイッチが有効な状態では、ディスプレイにロックアイコンが表示されます。

FMステレオ放送の受信状態がよくないときは…

FMステレオ放送の電波が弱いとノイズが多くなることがあります。このようなときは、FMステレオボタン(重低音ボタン)を長押しして、モノラル音声に切り換えてみてください。ノイズが軽減され、聴きやすくなります。ステレオ放送に戻るときは、もう一度FMステレオボタン(重低音ボタン)を長押ししてください(ディスプレイのFMステレオアイコンが表示されます)。

右側面



FMステレオ選択時に表示され、モノラルに切り換えると消えます。



FM 補完放送「ワイドFM」について

本機はFM周波数帯域が76~108MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。

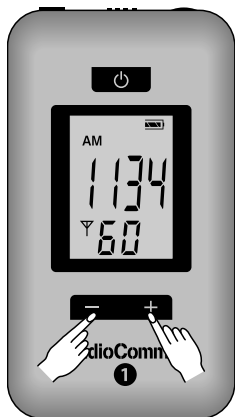
FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。

FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

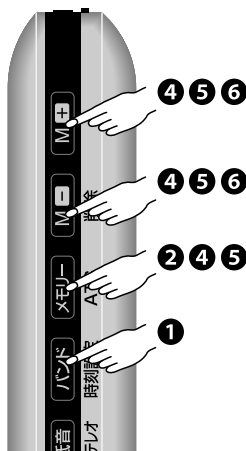
メモリー登録をする(手動)

よく聴く放送局をメモリー登録することで、簡単に選局することができます。

前面



右側面



1 P.10～12を参照し、メモリー登録したい放送局を受信します。

2 メモリーボタン(ATSボタン)を押します。

3 ディスプレイのメモリーアイコンが点滅し、メモリー番号(00)が表示されます。

4 M+ボタンまたはM-ボタン(削除ボタン)を押して、登録したい番号を選び、メモリーボタン(ATSボタン)を押すと登録が確定します。

5 複数の放送局を登録したい場合は、ステップ1～4を繰り返します。

6 登録した放送局を選択するときは、M+ボタンまたはM-ボタン(削除ボタン)を押して選びます。M+ボタンを押すと登録局が順に送られ、M-ボタン(削除ボタン)を押すと逆順で送られます。



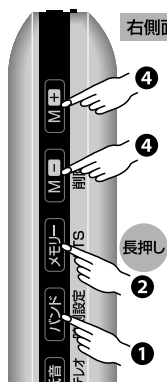
登録確定

ヒント

- AM20局、FM40局を登録できます。※メモリー番号01～20(AM)、01～40(FM)に登録できます。
- メモリー登録した放送局を受信中は、ディスプレイにメモリーアイコンとメモリー番号が表示されます。ただし、選局ボタン(+/-)で手動受信した場合は表示されません。メモリーアイコンとメモリー番号は約10秒後に消えます。
- ステップ4で、すでにメモリー登録された番号を選択した場合、データは上書きされます。

ATS (オートチューニングスキャン)

ATS(オートチューニングスキャン)を使うと、受信可能な放送局を自動検索し、一括してメモリーに登録することができます。



ヒント

- メモリー番号 01 ~ 20(AM : 20局)、01 ~ 40(FM : 40局)に登録されます。その際、これらの番号にすでに手動にてメモリー登録をしていた場合、データが上書きされますので、ご注意ください。
- メモリー登録した放送局を受信中は、ディスプレイにメモリーアイコンとメモリー番号が表示されます。ただし、選局ボタン(+/-)で手動受信した場合は表示されません。メモリーアイコンとメモリー番号は約10秒後に消えます。

ご注意

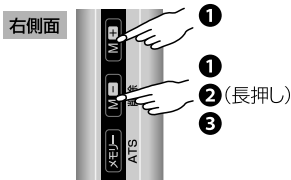
受信状態によっては、ご希望の放送局が登録されないことがあります。その場合は、手動でメモリー登録を行ってください。

メモリー登録の削除方法

手動またはATSで登録したメモリーを削除するには2つの方法があります。

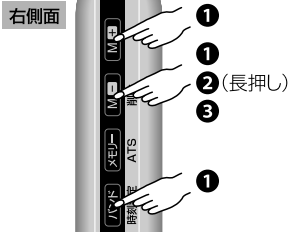
メモリー登録を個別に削除する場合

- 1 M+ボタンまたは削除ボタン(M-ボタン)を押して、削除したい放送局を受信します。
- 2 削除ボタン(M-ボタン)を長押しします。メモリー番号の代わりに「d」が表示されたら、すぐに指を離します。
- 3 もう一度削除ボタン(M-ボタン)を押すと、削除されます。



メモリー登録をすべて削除する場合

- 1 バンド切換ボタン(時刻設定ボタン)を押してメモリー登録を削除したいバンドを選び、M+ボタンまたは削除ボタン(M-ボタン)を押します。
- 2 削除ボタン(M-ボタン)を長押しします。メモリー番号の代わりに「d」が表示され、「d」が点滅を始めたらず指を離します。
- 3 もう一度削除ボタン(M-ボタン)を押すと、登録されている内容がすべて削除されます。



海外でご利用の場合

本機は、海外でのご使用時など、必要に応じて設定の変更が可能です(通常は変更の必要はありません)。

本機の電源が切れた状態で、操作してください。

受信周波数帯を変更する



M+ボタンを約5秒間長押しすると、ディスプレイに下記のいずれかの数字が表示されます。受信させたい周波数帯の数字が出るまで、この操作を繰り返します。

右側面

ディスプレイ表示	受信周波数帯	
64	FM 64~108MHz	AM 522~1710kHz
76	FM 76~108MHz	AM 522~1629kHz
87	FM 87~108MHz	AM 522~1710kHz

※ 工場出荷時は「76」(日本国内用)に設定されています。

AM放送の受信ステップを変更する



重低音ボタン(FMステレオボタン)を約5秒間長押しすると、ディスプレイに下記のいずれかの文字が表示されます。希望の受信ステップの文字が出るまで、この操作を繰り返します。

右側面

ディスプレイ表示	受信ステップ
A09	選局ボタン(+/-)を押した際、9kHzごとに周波数を送ります
A10	選局ボタン(+/-)を押した際、10kHzごとに周波数を送ります

※ 工場出荷時は「A09」(日本国内用)に設定されています。

故障かなと思ったら

電源が入らない

- 乾電池の向きは正しいですか。
- 乾電池が消耗していませんか。
- ホルド機能が有効になっていませんか。

音が出ない

- 音量が最小になっていませんか。
- 電源は入っていますか。
- イヤホンを接続していますか。プラグが正しく接続されていますか。
- 正しく選局されていますか。

雑音が多い／音が悪い

- 乾電池が消耗していませんか。
- イヤホンコードを伸ばして使っていますか。アンテナの機能を兼用しています。できるだけ伸ばした状態で使用してください。
- 近くで携帯電話を使用していませんか(携帯電話から離して使用してください)。
- テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか(テレビや蛍光灯から離して使用してください)。

メモリー登録したラジオ局を受信できない

- 電池交換などによりリセットされた可能性がありますので、もう一度設定し直してみてください。

お手入れのしかた

本機表面の汚れは柔らかな布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯が薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後に乾拭きしてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にぴりぴりと痛みを感じる場合がありますが、これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより影響が軽減されます。

主な仕様

受信周波数：AM 522～1629kHz
FM 76～108MHz
(FM補完放送「ワイドFM」対応)

出力端子：φ3.5mmステレオミニジャック

最大出力：13mW(付属イヤホン使用にて)

電源：DC3V 単4形乾電池×2本(別売)

外形寸法：幅46×高さ81×奥行19mm(突起物含まず)

質量：約50g(乾電池を除く)

使用可能時間：AM放送 約40時間
FM放送 約38時間

※いずれもアルカリ乾電池(新品)・音量
中程度・バックライト消灯状態で使用し
た場合

付属品：ストラップ、ステレオイヤホン(32Ω)、取扱
説明書、保証書

※使用時間の目安は、使用状況などにより異なります。

※仕様・外観などは予告なく変更することがあります。

※本書のイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

MEMO